



まち ひゅうが都市づくりかわら版

富高小学校タイムカプセル同窓会～再貝(さいかい)～

担当課:建設部 市街地整備課 中心市街地活性化室

日向市では、駅周辺整備事業に伴い市内の小・中学校や高校の児童・生徒に対して課外授業を行っています。その中で、平成19年度に富高小学校6年生を対象に行った課外授業では、平成20年3月に完成した日向市駅西口駅前広場のロータリー中央に、タイムカプセルを埋設しました。カプセルの中には、99名の子ども達が未来への夢や想いを描いた日向市特産のハマグリ基石とハマグリの貝殻が入れられており、カプセルは“貝”にちなんで「タイムカプセル」と名付けられました。

カプセルは児童が成人式の日に開封することとしており、元児童約50人、担任の先生6人、課外授業の講師2人が1月10日に再貝(さいかい)して開封を行いました。



8年前

埋設



ポーズは手で貝の形を作っています

掘出し

8年の年を経て取り出された貝を手にした新成人は、ひとり一人子どもの頃の夢や希望、現在の状況や今後の目標などを発表しました。

また、講師や担任の先生方からのお祝いの言葉の後、“再貝”できなかった先生方からのビデオメッセージも届き、懐かしむ声で賑いました。最後には新成人に向け、富高小学校OBで北海道日本ハムファイターズの黒木知宏コーチから激励のメッセージがあり、みんな真剣に聴いていました。



用意はいいか～い(貝)

～ 市民が奏でる “交響” 空間 優しく強く温かい人とまち ～

